## ◆p20リリース時の作業説明

**p1-18edt.py**

パネル1～18データに、エディティングでの修正を反映する。

必要ファイル：panel20エディティングでの修正.xlsx

読み込み元フォルダ：csv

書き出しフォルダ：csv\_out

→読み込み元フォルダにパネル19委員用データからCSVファイルをコピーしたうえでプログラムを読み込む（19は関係ないがフォルダに残っていてOK）

**csv\_compare.rb**

→差分を取るのに使用したプログラム

**assign\_name\_p\*\*.py**

固定長データをCSVに変換するプログラム。p20とp19データはこのプログラムで作成。

必要ファイル：formatnp\*\*.xls

　　　　　　　中調からの納品データ

　　　　　　　出力されるファイル　p\*\*\_1.csv～5.csv

\*\*はパネル番号

## ◆p21リリース時の作業説明

注意：p21作成時には、下記の修正作業を行っている。

１．夫・調査時＝学生or無職の退職理由で、パネル10までは「Q260I→病気のため」「Q260J→介護のため」だったものが、パネル11以降、「Q260J→病気のため」「Q260K→介護のためとなっている。

→パネル11以降の変数を10以前のものにそろえる処理をする。

２．新規コーホート・初職の退職理由で、p1では「人間関係が気まずくなったから」に「P78L」がふられていたが、p5bでその選択肢がなくなり、p11cで選択肢が復活した際に「P78Y」という別の選択肢になっている。

→p11以降を「P78L」にそろえ、「P78Y」は欠番とする処理

この二つの処理を「**subQ260P78.rb**」というプログラムで行っている。

**p1-19edt.py**

パネル1～19データに、エディティングでの修正を反映する。

必要ファイル：panel21エディティングでの修正.xls

読み込み元フォルダ：csv

書き出しフォルダ：csv\_out

**modify\_city\_code.py**

p21データを作成する前に、委員リリース用データの中でp5\_1に収まっている引っ越し履歴の変数がすべて99999となってしまっていたため、データを修正した（2014年3月20日）。そのため、地方自治体コードを4桁→5桁にそろえるこのプログラムを改めてかけ直した。

※このプログラムは、2014年のユーザーデータ作成時に、地方自治体コードの桁数だけを修正する目的で一度かけたもの。

固定長読み込みに関しては、p20と同様、**assign\_name\_p\*\*.py**を使用した。